

川越市主要駅周辺帰宅困難者対策協議会の概要・取組状況等

1 概要

- ◆ 活動エリア : 川越駅、本川越駅周辺
- ◆ 会長 : 西武鉄道本川越駅管区長
- ◆ 会員数 : 17人

駅	事業者	行政	その他
3人	10人	4人	—

- ◆ 乗降客数
西武鉄道本川越駅 49,020人/日 (令和6年度)
東武鉄道川越駅 117,404人/日 (令和6年度)
JR川越駅 36,080人/日 (令和6年度)
- ◆ 地域の特徴
通勤通学者や国内外からの観光客が多く、また、商業施設が駅周辺に密集していることから、災害時には多数の帰宅困難者が発生すると考えられる。
- ◆ 誘導マニュアル等の策定の有無
一時滞在施設運営マニュアル、一時滞在施設マップ、商業施設における帰宅困難者対策のガイドライン及び発災時等連絡要領

2 今年度の活動内容

- ◆ 会議の開催回数: 年間4回
- ◆ 備蓄状況
カロリーメイト、保存水、サバイバルシート、簡易トイレ、IP無線機、非常用発電機、スマホ充電器、投光器、ポケットーク、衛生用品、多機能ラジオを備蓄。

3 今年度の訓練内容

【情報収集・伝達訓練】

- ◆ 訓練実施日 : 令和7年11月11日(火)
- ◆ 実施場所 : 各構成員事務室内
- ◆ 参加者 : 協議会構成員、市職員
- ◆ 訓練項目・概要
情報収集・伝達訓練

【実動訓練】

- ◆ 訓練実施日 : 令和8年2月9日(月)
- ◆ 実施場所 : 川越駅、本川越駅、一時滞在施設
- ◆ 参加者 : 協議会構成員、市職員、工業会、福祉関係団体、観光案内所、市民
- ◆ 訓練項目・概要
利用者保護訓練、避難誘導訓練、一時滞在施設開設訓練、情報収集・伝達訓練、避難行動要支援者(障害者、外国人観光客)の保護訓練、応急手当訓練